



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日
東

上場会社名 株式会社レオクラ
コード番号 7681
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所
URL <https://www.leoclan.co.jp>

(氏名) 竹内 興次
(氏名) 西本 篤史 (TEL) 06-6387-1554

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	36,183	110.3	644	35.7	607	23.4	280	△11.7
2025年9月期第3四半期	17,208	9.5	474	100.2	492	104.6	317	67.1

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 313百万円(△4.6%) 2025年9月期第3四半期 328百万円(99.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	47.38	—
2025年9月期第3四半期	53.79	53.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	22,296	6,020	26.1
2025年9月期	10,869	5,819	51.8

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 5,825百万円 2025年9月期 5,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	44,500	107.1	680	135.9	610	97.5	230	50.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 4社 (社名) ファスキアホールディングス株式会社
株式会社フォーム
株式会社シンコム
中京三洋株式会社

除外 ー社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期3Q	5,922,000株	2025年9月期	5,922,000株
2026年9月期3Q	237株	2025年9月期	237株
2026年9月期3Q	5,921,763株	2025年9月期3Q	5,905,443株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(連結範囲の重要な変更)	11
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や高水準の賃上げを背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇による消費マインドへの影響や資源価格の変動、海外経済の動向等による下振れリスクも存在しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界においては、高齢化の進展により医療需要は底堅く推移しているものの、医療従事者の人材確保難や人件費・エネルギーコストをはじめとする各種費用の上昇が続いており、多くの医療機関において厳しい経営環境が継続しております。引き続き、効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築による経営環境の改善への取り組みのため、医療DXの推進や施設の機能強化、省力化に向けた設備投資への需要は引き続き堅調に推移しております。

このような状況の中、当社グループの主要事業であるメディカルトータルソリューション事業におきましては、医療機関の課題を解決すべく、これまでに培ってきた経験と築き上げてきた情報網を活かし、医療機関等の新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売、大型医療機器を中心とした医療機器及び医療情報システム(電子カルテ等)の販売活動を日本全国で展開しております。

また、グループの規模の拡大と安定した業績獲得による経営の安定化を目的として、2025年10月にファスピアホールディングス株式会社及び同社の子会社3社を連結子会社化しました。シナジー効果の創出に向けて取り組みを進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,183,943千円(前年同期比110.3%増)、営業利益は644,199千円(同35.7%増)、経常利益は607,992千円(同23.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は280,588千円(同11.7%減)となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

① メディカルトータルソリューション事業

当事業におきましては、医療機関等の新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売、大型医療機器を中心とした医療機器及び医療情報システム(電子カルテ等)等の販売活動を展開しております。当第3四半期連結累計期間は、主力の医療機関等の新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売による売上高が前年同期比で減少したものの、その他の領域での売上の増加が貢献し、わずかな減収となりました。利益面では、好採算の大型案件の減少により利益率が低下し、売上総利益が減少したことを主要因として、営業利益は前年同期に比べて減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,116,020千円(前年同期比1.1%減)、営業利益は177,430千円(同56.3%減)となりました。

② 遠隔画像診断サービス事業

当事業におきましては、質の高い遠隔画像診断サービスの提供、放射線診断専門医の安定的確保と専門性の高いノウハウを武器に、導入医療機関及び取扱件数の増加を図り、安定した営業基盤を維持しております。当第3四半期連結累計期間は、売上高は堅調に推移して、前年同期に比べて増収となり、利益面でも増収効果により、前年同期に比べて増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は616,496千円(前年同期比0.4%増)、営業利益は59,019千円(同0.6%増)となりました。

③ 低侵襲医療機器販売事業

第1四半期連結会計期間より新たに報告セグメントに追加した当事業では、東海地方を中心とした国立公立私立大学病院を主な顧客として、心臓ペースメーカー、不整脈治療用カテーテル、冠動脈ステント等の医療機器を販売しております。専門性を活かした営業活動を推進すると同時に、顧客の課題解決に向けた提案営業や新規開拓、既存取引先の拡大を図っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,626,234千円、営業利益は350,453千円となりました。

④ レンタル事業

第1四半期連結会計期間より新たに報告セグメントに追加した当事業では、テレビ・床頭台、空気清浄機、コイン/プリペイド式洗濯機等を病院、介護施設、宿泊施設、寮等へのレンタルを主に展開しております。レンタルに伴うメンテナンスのきめ細かな対応等による既存契約の更新、新規施設の開拓、また取扱商品の拡大による物販の売上の増加に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は467,123千円、営業利益は62,403千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6,165,621千円増加し、15,463,769千円となりました。これは、現金及び預金が4,002,264千円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,643,800千円、商品及び製品が620,918千円、それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5,261,709千円増加し、6,832,964千円となりました。これは、主に有形固定資産が1,977,878千円、無形固定資産がのれんや顧客関連資産の増加により2,429,252千円、投資その他の資産が854,578千円増加したことによるものです。

上記のうち、第1四半期連結会計期間において、ファスカアホールディングス株式会社及びその子会社3社を連結の範囲に含めたことによる影響（増加）は、流動資産9,842,791千円、固定資産1,977,938千円であります（金額は同社及び子会社の当第3四半期会計期間末の貸借対照表金額の合算から主要な内部取引を消去して算定しております）。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ11,427,330千円増加し、22,296,733千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5,941,705千円増加し、10,108,121千円となりました。これは買掛金が2,543,043千円、電子記録債務が2,161,393千円、1年内返済予定の長期借入金が500,000千円、それぞれ増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5,284,632千円増加し、6,168,260千円となりました。これは長期借入金が4,250,000千円、退職給付に係る負債が332,573千円増加したことなどによるものです。

上記のうち、第1四半期連結会計期間において、ファスカアホールディングス株式会社及びその子会社3社を連結の範囲に含めたことによる影響（増加）は、流動負債6,306,655千円、固定負債473,223千円であります（金額は同社及び子会社の当第3四半期会計期間末の貸借対照表金額の合算から主要な内部取引を消去して算定しております）。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ11,226,338千円増加し、16,276,381千円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて200,992千円増加し、6,020,352千円となりました。これは、主に利益剰余金が162,313千円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日に公表いたしました2026年9月期の通期業績予想に変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,776,831	8,779,096
受取手形、売掛金及び契約資産	4,198,333	5,842,133
商品及び製品	20,842	641,760
原材料及び貯蔵品	2,214	1,942
前渡金	248,763	42,241
その他	54,129	157,786
貸倒引当金	△2,965	△1,189
流動資産合計	9,298,148	15,463,769
固定資産		
有形固定資産	273,209	2,251,088
無形固定資産		
のれん	—	1,269,140
顧客関連資産	—	1,091,538
その他	95,877	164,451
無形固定資産合計	95,877	2,525,130
投資その他の資産	1,202,166	2,056,745
固定資産合計	1,571,254	6,832,964
資産合計	10,869,403	22,296,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	—	2,161,393
買掛金	3,470,752	6,013,796
短期借入金	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	—	500,000
未払法人税等	36,538	205,888
契約負債	281,747	33,170
賞与引当金	103,099	234,334
役員賞与引当金	10,800	12,600
その他	263,477	796,938
流動負債合計	4,166,415	10,108,121
固定負債		
長期借入金	—	4,250,000
退職給付に係る負債	300,473	633,047
役員退職慰労引当金	496,039	519,651
その他	87,114	765,561
固定負債合計	883,627	6,168,260
負債合計	5,050,042	16,276,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,975	545,975
資本剰余金	505,551	518,403
利益剰余金	4,508,263	4,670,576
自己株式	△166	△166
株主資本合計	5,559,623	5,734,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,224	91,143
その他の包括利益累計額合計	75,224	91,143
非支配株主持分	184,511	194,419
純資産合計	5,819,360	6,020,352
負債純資産合計	10,869,403	22,296,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	17,208,255	36,183,943
売上原価	14,980,443	31,658,200
売上総利益	2,227,812	4,525,742
販売費及び一般管理費	1,752,957	3,881,543
営業利益	474,855	644,199
営業外収益		
受取利息	2,448	5,223
受取配当金	3,300	6,001
保険解約返戻金	14,023	7,695
保険配当金	420	381
仕入割引	—	3,173
投資有価証券売却益	—	7,336
助成金収入	1,185	650
その他	1,979	5,656
営業外収益合計	23,357	36,119
営業外費用		
支払利息	—	63,982
持分法による投資損失	2,371	5,119
シンジケートローン手数料	1,499	1,499
その他	1,630	1,723
営業外費用合計	5,502	72,325
経常利益	492,710	607,992
税金等調整前四半期純利益	492,710	607,992
法人税、住民税及び事業税	100,728	379,938
法人税等調整額	57,941	△69,041
法人税等合計	158,670	310,896
四半期純利益	334,039	297,096
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,357	16,508
親会社株主に帰属する四半期純利益	317,682	280,588

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	334,039	297,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,991	15,918
その他の包括利益合計	△5,991	15,918
四半期包括利益	328,048	313,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	311,691	297,146
非支配株主に係る四半期包括利益	16,357	15,868

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル トータルソ リューション事業	遠隔画像診 断サービス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,291,806	613,986	16,905,793	302,462	17,208,255	—	17,208,255
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,525	—	2,525	—	2,525	△2,525	—
計	16,294,331	613,986	16,908,318	302,462	17,210,780	△2,525	17,208,255
セグメント利益	406,069	58,645	464,714	8,359	473,074	1,780	474,855

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,780千円は、セグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	メディカル トータルソ リューション事業	遠隔画像診 断サービス 事業	低侵襲医療 機器販売 事業	レンタル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,116,020	616,496	17,626,234	467,123	34,825,874	1,358,068	36,183,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	191	—	1,302	1,132	2,627	9,482	12,109
計	16,116,212	616,496	17,627,536	468,256	34,828,501	1,367,551	36,196,052
セグメント利益	177,430	59,019	350,453	62,403	649,307	55,467	704,775

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	36,183,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	△12,109	—
計	△12,109	36,183,943
セグメント利益	△60,575	644,199

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業、補聴器販売事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△60,575千円は、セグメント間取引の消去2,701千円、子会社株式取得関連費用△59,673千円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△3,604千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、ファスキアホールディングス株式会社の株式を取得し、同社及び同社の子会社である株式会社フォーム、株式会社シンコム及び中京三洋株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、株式会社フォームで展開する「低侵襲医療機器販売事業」、中京三洋株式会社で展開する「レンタル事業」を報告セグメントとして追加しております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「低侵襲医療機器販売事業」「レンタル事業」のセグメント資産の金額がそれぞれ8,913,595千円、1,082,551千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、ファスキアホールディングス株式会社の株式を取得し、同社及び同社の子会社である株式会社フォーム、株式会社シンコム及び中京三洋株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、株式会社フォームで展開する「低侵襲医療機器販売事業」、中京三洋株式会社で展開する「レンタル事業」を報告セグメントとして追加しております。また、従来報告セグメントに含まれていた「給食事業」については、量的重要性の低下により、株式会社シンコムで展開する補聴器販売事業と合わせて、報告セグメントに含まれない「その他」として記載する方法へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、ファスキアホールディングス株式会社の株式を取得したため、同社及び同社の子会社3社を連結の範囲に含めております。これにより、「低侵襲医療機器販売事業」、「レンタル事業」「その他」において、のれんがそれぞれ864,065千円、154,278千円、353,699千円発生しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。尚、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	67,260千円	308,773千円
のれん償却額	—	102,903千円

(連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、ファスキアホールディングス株式会社の株式を取得したことにより、同社及び同社の子会社である株式会社フォーム、株式会社シンコム及び中京三洋株式会社を連結の範囲に含めております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2025年8月19日開催の取締役会において、ファスキアホールディングス株式会社の株式を取得することを決議し、2025年10月1日に同社株式を取得し、同社を子会社化いたしました。

1. 取引の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	ファスキアホールディングス株式会社
事業の内容	グループ会社の経営管理 (グループ会社が医療機器等の販売、補聴器の販売、病院・介護施設、宿泊施設等向けレンタル事業を展開)

なお、被取得企業の株式取得に伴い、同社の100%子会社である株式会社フォーム、株式会社シンコム及び中京三洋株式会社の3社についても当社の子会社となります。

(2) 企業結合を行った理由

当社グループは、「医療、福祉、保健に関わる人達のすべてのニーズに応え、付加価値を提供していく。」というミッションを掲げ、医療機関、健診施設及び介護・福祉施設等に対して、医療機器の選定等のコンサルティング業務をベースに、医療機器、医療設備及び医療情報システムの販売、付帯する保守・メンテナンスサービス並びに内装工事や設置工事の請負を行う「メディカルトータルソリューション事業」を主力事業として展開しております。

ファスキアホールディングス株式会社を親会社とするファスキアグループは、「業界の仕組みと流通を革新する医療専門商社」として設立され、Sympathy（人情）、Sincerity（誠実）、Spurt（奮闘）の3つの「S」をモットーに、東海地方を中心として、医療機器販売事業、補聴器販売事業、レンタル事業を展開しています。

ファスキアホールディングス株式会社の株式を取得することにより、当社は企業規模の拡大とポートフォリオ強化による経営の安定化、またそれぞれの強み・ノウハウを活かして、東海地方を中心に、協業により高い相乗効果が期待でき、企業価値向上につながるものと判断したため、株式取得を行うことといたしました。

(3) 企業結合日

2025年10月1日（みなし取得日 2025年9月1日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 第3四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年9月1日から2026年5月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	6,898,945千円
取得原価		6,898,945千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	251,782千円
-----------	-----------

5. 発生したのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

1,372,044千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力によるものです。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却